

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C0806-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	146 155 188	4.3			①146行「 Δh のずれ量及び Δp のずれ量として規定する。」 ②表1 Δh テープ面に垂直方向の部品本体の前後の最大ずれ量 ③188行目 「 Δh は、テープ面に垂直方向の部品本体の前後の最大ずれ量である。」 ①と②、③の表現が一致しない。	①を生かすなら、②、③を Δh_{max} とするか、②、③を生かすなら①を「 Δh の最大ずれ量及び Δp の最大ずれ量として規定する。」とした方がよいと思いますが、IDT(identical)だと難しいのでしょうか。	そのままと致します。 (理由) 国際対応規格通りに翻訳している。 IDT (国際標準 IEC 60286-2) と一致させるということから現状の表記通りでお願い致します。
石井 2	146	4.3			pについても上と同じく		同上と致します。
渋谷 隆 1	205	4.7.3		ed	箇条書きのため“とする。”は不要。	“とする。”を削除する。	次のように致します。 ①変更内容の“とする。”は削除致します。 ②文中の“は、”を“：”に変更致します。 ↓以下、修正文章となります。 － シングルインラインとなる中空端子の距離 K の許容差：±0.3 mm － デュアルインラインとなる中空端子の距離 K：2.5 mm±0.3 mm
渋谷 隆 2	216	5.2		ed	“整列させる。”使役動詞。	“整列させる。”を“整列する。”に修正する。	そのままと致します。 (理由) 電子部品が自分で、整列することはない

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C0806-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					<p><追加コメント></p> <p>JIS で能動態を推奨するのは、主語は測定者、目的語を部品とするためです。</p> <p>C0806-3 の渋谷隆 3 コメント対応では、修正するとしている。</p>	<p>“極性がある全ての部品を、極性を同一方向に整列する。”</p> <p>⇒2024 年 6 月 11 日再度検討するよう依頼されることを追記</p> <p>何度も申し訳ありませんが、御回答案ですが、shall 文なので、強調して“極性がある全ての部品は、極性を同一方向になるようにしなければならない。”ということだと思いますが、「同一方向にセットする」ことを規定しているだけなので、単純に、“極性がある全ての部品は、極性を同一方向に整列させる。”</p> <p>の受動態を能動態にするだけで問題ないと思います。</p> <p>① “極性がある全ての部品を、極性を同一方向に整列する。”</p> <p>② “極性がある全ての部品を、極性を同一方向に並べる。”</p> <p>の二択で問題ないと思いますが。</p>	<p>め。</p> <p>次のように致します。</p> <p>“極性がある全ての部品の極性は、同一方向にする。”</p>
渋谷隆 3	223	5.3		ed	受動態。	<p>“部品は、保管及び輸送の間にそのテープ上の位置が規定する許容差の範囲内に保たれるような方法でテープに固定されていない。”</p> <p>を</p> <p>“部品を、保管及び輸送の間にそのテープ上の位置が規定する許容差の範囲内に保たれるような方法でテープに固定しなければならない。”に修正する。</p>	ご指摘に従い修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C0806-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 4	265	7.1		ed	“巻くか又は折り曲げて”	“巻く又は折り曲げて” に修正する。	ご指摘に従い修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C0806-3	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	187	5.2		ed	“部品収納部の横寸法 A0 及び B0” の横寸法とは何か。 寸法 A0 が引き出し方向、寸法 B0 が引き出し方向に垂直な方向に見える。	横寸法を適切な用語に修正する。	ご指摘どおり「横」を削除し、“部品収納部の寸法 A0 及び B0 は...” に修正致します。
石井 1	203 223	5.3		ed	203 行「部品収納部ピッチの 2 mm 及び 1 mm に固有のテープ寸法並びにポケットオフセット」 223 行「部品収納部ピッチの 2 mm 及び 1 mm に固有のテープ寸法、並びにポケットオフセット」 同じ内容なので、キャプションを合わせた方が良い。（「,」部分）	1. 203「部品収納部ピッチの 2 mm 及び 1 mm に固有のテープ寸法、並びにポケットオフセット」 (赤字「,」を入れる)	同意します。 203 行:「部品収納部ピッチの 2 mm 及び 1 mm に固有のテープ寸法、並びにポケットオフセット」に修正します。
石井 2	206 226 247	5.3		ed	206 行「部品の傾き、回転及び偏り」 226 行「部品の傾き、水平方向の回転及び横方向の偏り」 247 行「部品の傾き、水平方向の回転及び横方向の偏り」 同じ内容の図と思われるので、図の題名を合わせた方が良い	どちらかに合わせる	同意します。 206 行:「部品の傾き、回転及び偏り」は修正し、「部品の傾き、水平方向の回転及び横方向の偏り」に統一します。
渋谷隆 2	253	5.5	表 10	ed	“孔”と“穴”が混在している。	貫通孔と非貫通穴などを区別しているのであればその旨をどこかに記載する。 区別していないのであれば、どちらかに統一する。	表 10 及び表 15 の注 a) の“孔”を“穴”に修正し、統一致します。
渋谷隆 3	322 338 388 559 704	6.1 6.2 8 11.2 B.2.2.9		ed	“させる” 使役動詞	部品などを目的語にし、“する”に修正する。	322 行の“一方向に整列させる”⇒“向きを一方向に統一する”に修正致します。 766 行,786 行の“乾燥させる”⇒“乾燥する”に修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C0806-3	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							上記以外は、そのまま でお願い致します。例 えば、部品などは部品 業者の意思で、付着、 帯電“させて”いるた め。
渋谷 隆 4	852	参考文献		ed	文献番号[1]などは本文中で引用されてい る場合に有効である。本文中で引用され ていない場合は文献番号は必須ではな い。	文献番号を削除する。	分科会で文献番号[1]な ど記載することに決定 しましたので、そのま までお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C2570-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
石井 1	224	3.10		ed	「絶縁形 NTC サーミスタ」と NTC を入れているので、英語にも入れた方がよい。	非絶縁形 NTC サーミスタ (non-insulated NTC thermistor) となっているので、絶縁形 NTC サーミスタも insulated NTC thermistor でよいのでは？	用語及び定義の各用語の括弧内には対応国際規格どおりの英語の用語を記載するルールなので、このまま (insulated thermistor) をお願い致します。
渋谷 隆 1	280	3.22		ed	JIS Z 8301 に従い、定義は一文で表す。	式(2)を注釈 1 に移動し、定義を言葉で表す。	このままでお願いいたします。 対応国際規格どおりで、このままの文章でお願い致します。式を定義文に入れて説明するのは分かり辛いと思います。
					<p><追加コメント></p> <p>式を定義分に入れないように JIS Z 8301 にも、ISO/IEC Directives Part 2 にも規定されている。IEC 国内委員にも IEC 会合でコメントするようにお願いします。</p> <p>渋谷隆 3 も同じです。</p>		<p>JIS Z8301:2019 の P.38 の 16.5.7(非言語表現)では、</p> <p>「定義は、図、表及び式を用いて補足説明してもよい。定義は、式だけで示してもよい。」と記載されており許容の規定になります。例 2 の注釈 1 での式の記載方法も一つの記載例です。</p> <p>JSA 品証 T へ確認したところ、「専門家の議論によって、技術的な概念を定義するには式を含めたほうがよいのか、文章だけで、式は求め方の参考</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C2570-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							情報程度でよいかを決めて、注釈 1 を利用するか検討頂ければよいかと思います。」というコメントでした。
					<追加コメント> JSA 品証チームへの確認及び説明を了解しました。 ISO/IEC Directives Part 2, Ed.9.0: 2021 の、16.5.8 に記載されていることを確認しました。		
石井 2	283	3.22	式(3)	te	一般的に「ln」は自然対数かと思いません。	log もしくは log10 に修正	式(3)の ln(Ra/Rb)を log(Ra/Rb)に修正致します。
渋谷 隆 2	283	3.22	式(3)	te	常用対数を使っていない。	In を log ₁₀ に修正する。	変更提案に同意いたします。 式(3)の ln(Ra/Rb)を log(Ra/Rb)に修正致します。
渋谷 隆 3	290	3.23		ed	JIS Z 8301 に従い、定義は一文で表す。	式(4)を注釈 1 に移動し、定義を言葉で表す。	このままでお願いいたします。 対応国際規格どおりで、このままの文章でお願い致します。式を定義文に入れて説明するのは分かり辛いと思います。
渋谷 隆 4	743	6.8.3		ed	以内は± x の場合に用いる。	“以内”を“以下”に修正する。	変更提案に同意いたします。 “～は、1%以下とする。”

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C2570-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							“～は、0.1%以下とする。”
渋谷隆 5	783	7.2.4		ed	極力能動態を用いる。	“作用させる力”を“作用する力”に修正する。	能動態の変更に同意いたします。“作用させる力”を“加える力”に修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	150	1		ed	“この規格を個別規格に規定する試験の重大度及び要求事項は、同等又はそれ以上の性能水準であり要求事項水準が低いことは許容されない。” 意味が理解しづらい。	“この規格を基とした個別規格に規定する試験の重大度及び要求事項は、同等又はそれ以上の性能水準であり、要求事項水準がこの規格の規定より低いことは許されない。” に修正する。	ご指摘の内容を検討し、“この品種別通則に基づいた個別規格に規定する試験の厳しさ及び要求事項は、この規格と同等又は高い水準に設定され、低い水準は許容されていない。”に変更致します。同時に改正している JIS C 5101-14 に合わせました。
渋谷隆 2	189	3.1		ed	“許容値”ではなく、“許容値を規定する分類記号”ではないか。	“許容値を規定する分類記号”に修正する。	ご指摘の内容を検討し、“許容値を規定する区分”と致します。
渋谷隆 3	215	4.2.2		ed	“になる。”は説明文で要求事項ではない。	必要であれば、“とする。”又は“が望ましい”に修正する。	ご指摘通り“が望ましい”に修正致します。
渋谷隆 4	238	4.2.5	表 2	ed	“± (0.5 % + 0.5 pF)” %と絶対値が混在している。	単位を合わせる。又は注記で計算例を説明する。	このままと致します。静電容量変化の許容値と説明があり、注 a)の各試験の箇条に、試験前後の静電容量値の変化と記載されております。対応国際規格とおりです。
渋谷隆 5	426	5.7.4		ed	“0.75 mm 又は 100 m/s ² のいずれか緩い方” 何が緩い方かの記載がない。	印加する振動加速度が低い方を明記する。	ご指摘の内容を検討し、“振幅 0.75 mm 又は加速度 100 m/s ² のいずれ

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							れか緩い方”に修正致します。同時に改正している JIS C 5101-14 に合わせました。
諏訪 1	1028	8.2		Ed	<p>“本質的に同じ製造工程及び材料を用いて製造したコンデンサは、同じクラス及び定格電圧である場合、外形寸法及び公称静電容量値が異なっても、構造的に類似なコンデンサとみなす。”と記載があるが、</p> <p>構造的に類似なコンデンサとは、外形寸法、静電容量及び電圧が異なる場合であっても、同様の工程及び材料で製造されたコンデンサである。としたらいかがでしょうか？</p> <p>以下、IEC 原文 Capacitors considered as being structurally similar are capacitors produced with similar processes and materials, though they may be of different case sizes, capacitance and voltage values.</p>	<p>次の文章に修正する。</p> <p>構造的に類似なコンデンサとは、外形寸法、静電容量及び電圧が異なる場合であっても、同様の工程及び材料で製造されたコンデンサである。</p>	<p>ご提案内容に従い、次の文章に修正いたします。</p> <p>“構造的に類似なコンデンサとは、外形寸法、静電容量及び電圧が異なる場合であっても、同様の工程及び材料で製造したコンデンサである。”</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	269 280	3.1.8 3.1.9		ed	定義に“(図 4 参照)”は含まない。	図 4 参照を注釈 1 に移動する。	ご提案どおり次のように修正致します。 3.1.8 に注釈 1 を設け、“注釈 1 図 4 参照”へ変更します。 また、 3.1.9 の“(図 5 参照)”を“注釈 1 図 5 参照”へ変更し、元の注釈 1 は注釈 2 へ変更します
渋谷隆 2	320	3.1.18	注釈 2	ed	出典を記載している。	(出典) として記載する。	IDT に対応国際規格どおりのため、このままと致します。出典の定義内容変更について文章で説明しているので注釈でよいと思います。
渋谷隆 3	333	3.1.16		ed	この規格に用いる用語のため(コンデンサに適用)は不要。	(コンデンサに適用) を削除する。	この規格の適用範囲である RC ユニットには適用していないとの意味で記載しています。 対応国際規格どおり、適用領域<>を用い、定義文の冒頭へ移動して “<コンデンサに適用>”と致します。
渋谷隆 4	345	3.1.19		ed	“IEC 60060-1:2010 に規定する波形”	IEC を引用せずに規定できるかを検討する。	変更せずこのままと致します。 ご提案とおりに新たに

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							規定を設けるとなるとMODになります。 IEC 60060-1 に対応 JIS が発行されていないため、対応国際規格の文を直訳しています。
渋谷隆 5	356	3.2		ed	JIS Z 8301 では、分類は箇条 4 以降。	箇条 4 以降に移動する。IDT を維持する必要がどの程度あるのか。	移動せずこのままと致します。 この規格の対応国際規格は、強制規格の安全規格として多くの国で採用されており、認定機関の相互認証を確保する上でも JIS-IEC 間で IDT とすべき規格であり、MOD 化すべきではないと考えます。
渋谷隆 6	392	4.1		ed	“25/085/21” —25℃だが、” -25/085/21” にする必要はないか？	“-25/085/21” にする必要はないかを検討する。	このままと致します。 カテゴリ下限温度は全てマイナスでありプラス温度は無いので、マイナス記号を書略してよいと考えます。 よって対応国際規格の表記のとおりそのままとします。
渋谷隆 7	395	4.1		ed	注記に要求事項が含まれている。	“電磁障害防止部品を機器に組み込み使用する場合、部品の外部表面温度がカテゴリ温度範囲を超える条件で用いてはならな	このままと致します。 注記に記載されている IEC 60940 の要求事項の

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						い。” を注記から本文に移動する。	翻訳は参考情報として記載しており、要求事項そのものではありません。
渋谷隆 8	417	4.2.6		ed	“製造業者と顧客との” 製造業者ではない販売業者が販売する 場合が考えられる。	“供給者及び使用者” に修正する。	修正せずこのままと致します。 2023 年の IEC TC40 国際会議において、取り決める主体は製造業者と顧客であることが合意され、その方向で修正することとなりました。
渋谷隆 9	477	5.3.1.3		ed	“ロット” の定義がない。 材料ロット、製造ロット、検査ロットな どが考えられる。	必要であれば、ロットの定義の例を注記で 追加する。	このままと致します。 箇条 8 （品質評価手順）を読めば理解可能です。
渋谷隆 10	693	5.13.1		ed	DHSS の和訳、full term の記載がない。	DHSS の和訳、full term を記載する。	DHSS を“高温高湿（定常）”に変更致します。 細分箇条 5.13 の題名と同じ意味です。
渋谷隆 11	732	5.14.3		ed	“される” 受動態	能動態 “する” に修正する。	対応国際規格“~is defined” に従い受動態のままとします。これは要求事項ではないためです。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

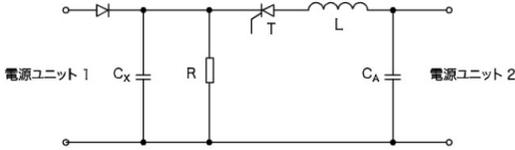
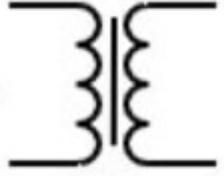
日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 12	740 758	5.14.3 5.15.2		ed	“以内”は±Xの場合に用いる。	“以内 “を” 以下 “に修正する。	ご提案どおり”以下“に修正します。 (対応国際規格“not greater than 10%)
渋谷隆 13	840	5.16.3		ed	約1回があいまい。	目安（ガイドライン）、例えば 0.8～1.2などを注記で記載する。	このままと致します。 対応国際規格では”approximately one operation”とあいまいですが、この規格の対応国際規格は、長年国際的に安全認証規格として用いられており、JISにおいて新たに要求事項となるような記載を行うのは回避すべきと考えます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案																																																																																																	
石井 1	921	5.19.1	図 7		<p>L1... L4: 棒コアチョークの回路図の図 7</p> <p>JIS C 5101-1 の回路図でも L の表現方法は</p>  <p>電源ユニット 1 C_x R C_A 電源ユニット 2</p> <p>となっています。 また、絶縁変圧器もこれでよろしいでしょうか?</p>	<p>JIS 電気用図記号の新旧対照表 実教出版株式会社</p> <p>回路図に用いる電気用図記号は、国際規格 IEC 60617 に合わせて日本でも JIS C 0617 に改正され、工業教育では新記号に統一されましたが、企業の現場あるいは CAD ソフトや参考書などでは依然として旧記号が用いられている実態があります。この状況にかんがみて、変更されたおまな新旧図記号の対照表を作成しましたので、ご参考してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>名称</th> <th>新記号</th> <th>旧記号の例</th> <th>分類</th> <th>名称</th> <th>新記号</th> <th>旧記号の例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">図記号要素、固定図記号およびその他の一般用図記号</td> <td colspan="4">電気エネルギーの発生および変換</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">流電の圧・類電</td> <td>直流</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">変圧器</td> <td>2 巻線変圧器 (単相)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直流記号の使用例 (直流電動機)</td> <td>(M)</td> <td>(M)</td> <td>電池</td> <td>1 次電池または 2 次電池</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">基礎受動部品 (抵抗器、コンデンサ、インダクタ)</td> <td colspan="4">開閉装置、制御装置および保護装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">抵抗器</td> <td>抵抗器</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">接点</td> <td>マーク接点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>可変抵抗器</td> <td></td> <td></td> <td>ブレーク接点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>しゅう (摺) 動接点付抵抗器</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">開電力受動部品</td> <td>遮断器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンデンサ</td> <td>コンデンサ</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">保</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>可変コンデンサ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有極性コンデンサ (電解コンデンサ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">インダクタ</td> <td>コイル、巻線、インダクタ、チョーク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁心入インダクタ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>のインダクタの新記号にするのではないのでしょうか?</p>	分類	名称	新記号	旧記号の例	分類	名称	新記号	旧記号の例	図記号要素、固定図記号およびその他の一般用図記号				電気エネルギーの発生および変換				流電の圧・類電	直流	—	—	変圧器	2 巻線変圧器 (単相)			直流記号の使用例 (直流電動機)	(M)	(M)	電池	1 次電池または 2 次電池			基礎受動部品 (抵抗器、コンデンサ、インダクタ)				開閉装置、制御装置および保護装置				抵抗器	抵抗器			接点	マーク接点			可変抵抗器			ブレーク接点			しゅう (摺) 動接点付抵抗器			開電力受動部品	遮断器			コンデンサ	コンデンサ			保				可変コンデンサ							有極性コンデンサ (電解コンデンサ)							インダクタ	コイル、巻線、インダクタ、チョーク							磁心入インダクタ							<p>L1 から L4 の記号は、新記号 (JIS C 5101-1 の L の記号と同じ) に変更致します。</p> <p>絶縁変圧器 Tr の記号も、次のように新記号へ変更致します。</p> 
分類	名称	新記号	旧記号の例	分類	名称	新記号	旧記号の例																																																																																																	
図記号要素、固定図記号およびその他の一般用図記号				電気エネルギーの発生および変換																																																																																																				
流電の圧・類電	直流	—	—	変圧器	2 巻線変圧器 (単相)																																																																																																			
	直流記号の使用例 (直流電動機)	(M)	(M)		電池	1 次電池または 2 次電池																																																																																																		
基礎受動部品 (抵抗器、コンデンサ、インダクタ)				開閉装置、制御装置および保護装置																																																																																																				
抵抗器	抵抗器			接点	マーク接点																																																																																																			
	可変抵抗器				ブレーク接点																																																																																																			
	しゅう (摺) 動接点付抵抗器			開電力受動部品	遮断器																																																																																																			
コンデンサ	コンデンサ				保																																																																																																			
	可変コンデンサ																																																																																																							
	有極性コンデンサ (電解コンデンサ)																																																																																																							
インダクタ	コイル、巻線、インダクタ、チョーク																																																																																																							
	磁心入インダクタ																																																																																																							
石井 2	924	5.19.2			<p>ピーク電圧 U_i</p> <p>ピーク電圧という表現だと絶対値を考えてしまいます。 (図 6 のピーク電圧は絶対値を言っているようです)</p>	<p>927 行の説明があっているのか 924 行の図があっているのかが分かりませんでした。</p> <p>(参考)</p> <p>927 5.19.2 ピーク電圧 U_i の調整</p> <p>928 交流電流は S1 によって遮断し、変圧器の二次巻線は S2 によって短絡する。静電容量 C_x±5 %の調整用コ</p> <p>929 ンデンサを C_x の位置に接続する。その後、オシロスコープに表示したコンデンサ C_x に印加するピーク電</p>	<p>ピーク電圧 U_i は、5.19.2 に規定されるように、実際の試験中の電圧ではなく、試験時の交流電源 U から切り離れた状態で、オシロスコープにより絶対値として測定可能な状態で規定される電圧です。</p> <p>従って、図 8 は試験中</p>																																																																																																	

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						<p>930 圧 U_i に, U_t を調整する。設定した U_t を用いてコンデンサの試験を実施する。</p>	<p>に印可される波形のイメージ図であって、図中の U_i として表示されている動的な電位差は、5.19.2で規定される回路設定値としての電圧とは必ずしも一致しないことは評価回路技術者なら自明であると考えます。</p> <p>図 8 の趣旨が、本試験の概念的なイメージを伝えるためのものではないと考えられ、ピーク電圧 U_i 自体は 5.19.2 で明確に定義されているためほぼ原案通りで問題ないと考えます。</p> <p>(U_i は U の約 10 倍程度に規定されており、図 8 はわかりやすくするために U のスケールが U_i と同レベルに強調されて書かれていることにご注意ください。)</p> <p>しかしながら、929-923 行に記載のある 5.19.2</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>の「ピーク電圧 U_i に、U_t を調整する。」の文では、$U_i=U_t$ と誤読されるようなニュアンスになっております。</p> <p>よって、対応国際規格の文の訳を見直し次のような表現に変更します。「オシロスコープに表示したコンデンサ C_x に印加するピーク電圧が U_i になるように、U_t を調整する。」</p>
石井 3		附属書			<p>詳しい規則を存じ上げないのですが、一応、記載しておきます。 附属書の順番です。 現状、 附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒参考文献 となっておりますが、規定の重要度や優先度が高いので、 附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒参考文献 と揃えた方がよい感じもします。</p>		<p>附属書の順番は対応国際規格どおりですので、附属書の順番は原案のままとします。</p> <p>（附属書 A～D は、本文で言及されている順です。附属書 F, G は本文で複数の箇所而言及されているので、後の順番におかれています。H～I は 2013 年の追補で追加されたもので、J, K は 2023 年の最新の改正で追加されたものです。）</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5101-14	プロジェクト:
-----	-----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
------	------------------	-------------------------	-------------------------	--------------	-------	-----	----------

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5160-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	557	6.4.1		ed	“標準状態” “標準大気条件”が4回使われている。	“標準大気条件”に修正する。	ご提案いただいた内容に修正致します。 6.4.1 c) “コンデンサは標準状態で”を“コンデンサは標準大気条件で”に変更致します。 5.2.1, 5.2.2, 6.3.2 及び 8.3.3 は対応国際規格が”standard atmospheric conditions”となっており, JIS を“標準大気条件”としています。 6.4.1 は対応国際規格が”standard conditions”となっており, JIS では“標準状態”としています。 6.4.1 の“標準状態”は“標準大気条件”と同意ですので, ご提案の内容に変更致します。
石井 1		附属書			詳しい規則を存じ上げないのですが、一応、記載しておきます。 附属書の順番です。 現状、 附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒参考文献		ご指摘ありがとうございます。 対応国際規格どおりのため、このままでお願い致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5160-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					となっておりますが、規定の重要度や優先度が高いので、 附属書（規定）⇒附属書（参考）⇒参考文献 と揃えた方がよい感じもします。		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1		全体		ge	C5201-4 と統一感がない。	全体を見直す。	C5201-2 も C5201-4 も IDT のため対応国際通り和訳し、統一性を重視して「3.2, 3.3, 4.2.1, 5.1, 5.2.3, 5.3.9, 5.3.16, 7.4」などの文章の共通化にも対応しております。 -2 と -4 で統一感がない部分があればご指摘お願い致します。
					C5201-4 との統一感については、別途 C5201-4 へのコメントを行っているため、それらを確認願います。		
渋谷 隆 2	110	1		ed	“スルーホール技術 (THT)” が規格名称の “スルーホール基板実装 (THT)” と一致していない。	“スルーホール基板実装” に修正する。	“スルーホール基板実装” に修正致します。
渋谷 隆 3	177	3.1.3		ed	“絶縁していると宣言した” 誰が誰に対して宣言したのか	“規定している” に修正する。	“規定している” に修正致します。
渋谷 隆 4	229	4.2.2	図 4	te	図 4 の題名が測定方法となっているが、測定方法はゲージ板によって行うと 226 行に規定されている。	図 4 の題名から “の測定方法” を削除する。	図 4 の題名から “の測定方法” を削除致します。
渋谷 隆 5	273	4.6	図 7	ed	“軽減曲線” の例が示されている。	図 7 の題名に “の例” を追加する。	図 7 の題名に “の例” を追加致します。
渋谷 隆 6	367	5.2.3		ed	“抵抗器の軸方向は、供試品の本体長さの 50 % である $\Delta l \leq 0.5 \times L$ を超えてはならない。”	“抵抗器の軸方向は、供試品の本体長さの 50 % を超えてはならない。 ($\Delta l \leq 0.5 \times L$) ” に修正する。式を括弧内で記載しても、括弧がなくても良い。	“抵抗器の軸方向は、供試品の本体長さの 50 % を超えてはならない。 $\Delta l \leq 0.5 \times L$ ” に修正致し

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							ます。
渋谷隆 7	431	5.3.6		ed	“正しい評価が達成される。”	“正しく評価することが可能である。”に修正する。	“正しく評価することが可能である。”に修正致します。
渋谷隆 8	783	6.3		ed	TCR の和訳、full term がない、	“抵抗温度係数 (Temperature coefficient of Resister)”とする。	“抵抗温度係数 (Temperature coefficient of resistance, TCR)”に修正致します。
山田 1	789	6.3	表 5	ED	TCR : ±1 の抵抗値変化・基準温度/カテゴリ上限温度・20 °C/ 175 °C の値 ±0016 に小数点がない。±0.016 では？	±0016 → ±0.016	ご指摘ありがとうございます。 ご提案通り修正致します。 ±0016 → ±0.016
渋谷隆 9	812 817	6.5.3		ed	箇条書き (細別) が 2 段階になっている。“-” 及び “.”。	“-” を a), b) にする。	“-” を a), b) に修正致します。
石井 1	1090	附属書 B			「検討中」となっています。 附属書 X の表 X.1 の 1619 行の附属書 B の説明では「外観検査合格基準を規定した。」とありますが、規定している事になるのでしょうか？		ご指摘ありがとうございます。 表 X.1 の 2 箇所を次のように修正致します。 ①6.5 (外観検査) の注記欄の「外観検査」を「外観検査を追加した。」へ変更 ②附属書 B (外観検査合格基準) の注記欄の「外観検査合格基準を規定した。」を「検討中」へ変更

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
------	------------------	-------------------------	-------------------------	--------------	-------	-----	----------

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	113 302 322	1 3.4.3 3.4.6		ed	“最大表面温度 “	“最高表面温度” に修正する。	ご指摘ありがとうございます。“素子最高温度” と致します。
渋谷隆 2	126	1		ed	“スルーホールアセンブリ (THT) ” 規格名称 “スルーホール基板実装 (THT) ”	規格名称に合わせる。	ご指摘に従い“スルーホール基板実装 (THT) ” に修正致します。
渋谷隆 3	160	2		ed	年号が 9999	適切に修正する。	今回 C5201-2 と同時に改正作業を実施しているため、公示年度が確定次第記入致します。
渋谷隆 4	183	3		ed	JIS Z 8301 では箇条 3 に用語、定義、略語及び記号を記載することを要求している。	箇条 3 を 2 分割する。IDT を維持する必要性を再検討願います。	IDT に対応国際規格通りのためこのままでお願い致します。 また、この規格の親規格 C5201-1:2021(IEC60115-1:2020)でも同様な記載があり、次回の IEC IEC60115-1 改訂時に検討致します。
渋谷隆 5	199	3.2		ed	形状とタイプが混在している。 117 行にタイプ、スタイルが用いられている。	形状又はタイプに統一する。	タイプと形状とを使い分けていますので、このままでお願い致します。
					<追加コメント> 形状、タイプ、スタイルの違いを説明してください。		ご指摘ありがとうございます。 本文を見直し次のように修正致します。 本文中に 1 つある 117

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>行のスタイルは形式とさせていただきます。</p> <p>「タイプ (様々な幾何学的形状) 及び形式 (様々な寸法)」</p> <p>タイプは、種類を表しており、形状は、タイプの中の形を示しています。以下、修正します。</p> <p>433 行「これらのタイプの形式記号は、2 文字で始まり、・・・」</p> <p>435 行「b) ラジアル形状高電力抵抗器」</p> <p>439 行「注 a) 形式記号の表示例は、ラジアルリードセラミックケース収納形巻線抵抗器の垂直形状・・・」</p> <p>445 行「これらのタイプの形式記号は、2 文字で始まり、・・・」</p> <p>464 行「端子形コードを形式記号に追加可能である。」</p> <p>752 行「アキシャル形状抵抗器本体の長さ は、」</p> <p>1279 行, 1286 行「それぞれの形式記号・・・」</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							1767 行, 1769 行, 1771 行, 1779 行, 1781 行, 1783 行 「形式記号には, 例えば, …」 1831 行及び 1864 行 「成形した横形の抵抗器の形式記号とリード線 …」 1891 行「このタイプのラジアル形状抵抗器は, 通常, …」
渋谷隆 6	199 208 219 227	3.2.2 3.2.3 3.2.4 3.2.5		ed	用語に英語の記載がない。 C5201-2 には記載がある。	英語を追加する。	ご指摘ありがとうございます。 次のように英語を追加します。 3.2.2 アキシアル形状 (axial type) 3.2.3 ラジアル形状 (radial type) 3.2.4 垂直形状 (Vertical type) 3.2.5 円筒形状 (Tubular types)
渋谷隆 7	200	3.2.2		ed	スルーホール基板 (THT)	“スルーホール基板実装 (THT)” に修正する。	ご指摘に従い“スルーホール基板実装 (THT)” に修正致します。
渋谷隆 8	266	3.3.4		ed	“生成される。 “ 主語がない。	“エナメル塗装が生成される。 “ できれば能動態が良い。	ご指摘に従い, 修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							“エナメル塗装が生成される。”
渋谷隆 9	317	3.4.5		ed	“に巻かれ、アルミニウムケースに収納される。” 受動態。	要求事項であれば能動態にする。 説明であれば、“通常”、“一般的に“又は”ことが多い“などを追加する。	ご指摘ありがとうございます。 “アルミニウムケースに収納されることが多い”に修正致します。
渋谷隆 10	323	3.4.6		ed	“収納を用いる”。	“収納する。”	ご指摘に従い修正致します。 “収納する。”
渋谷隆 11	499 507	4.6	図 14 記号説明 図 15 記号説明	ed	MET：素子最高温度	最高表面温度に修正する。	このまま、“素子最高温度”でお願い致します。
渋谷隆 12	511	4.7		ed	“DC 又は AC の実効値の推奨値。” 主語、述語がない。	適切に修正する。	ご指摘ありがとうございます。 “DC 又は AC の実効値の推奨値。素子最高電圧 Umax は、次に示す。”を “直流又は交流（実効値）での素子最高電圧 Umax は、次に示す。” に修正致します。
渋谷隆 13	557 578	5.2.2 5.2.3		ed	“アキシャル抵抗器”	“アキシャルリード端子付き抵抗器”に修正する。	ご指摘に従い“アキシャルリード端子付き抵抗器”に修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							す。
渋谷隆 14	585 586	5.2.3		ed	“供試品の本体長さの 50 %である $\Delta l \leq 0.5 \times L$ を超えてはならない。” “供試品の本体径 $\Delta P \leq D$ を超えてはならない。” 式と文章を分ける。	“供試品の本体長さの 50 %を超えてはならない。 $\Delta l \leq 0.5 \times L$ 。” “供試品の本体径を超えてはならない。 $\Delta P \leq D$ 。” に修正する。	ご提案通り修正致します。
渋谷隆 15	613	5.3.2		ed	TSR の和訳、full term がない。	抵抗温度係数 (Temperature coefficient of resistor; TCR) とする。	ご指摘ありがとうございます。 “TCR [抵抗温度係数 (Temperature coefficient of resistance)] ”と致します。
渋谷隆 16	640	5.3.4		ed	“正しい評価が達成される。”	“正しく評価することが可能である。”に修正する。	ご提案通り修正致します。
渋谷隆 17	641	5.3.4		ed	“試験は、次に示す定格電圧で実施する。 JIS C 5201-1:2021 の 7.1.5 による。”	“試験は、次に示す定格電圧で実施する (JIS C 5201-1:2021 の 7.1.5 参照) 。” 又は “試験は、 JIS C 5201-1:2021 の 7.1.5 に示す定格電圧で実施する。”に修正する。	ご指摘ありがとうございます。 “試験は、 JIS C 5201-1:2021 の 7.1.5 に示す定格電圧で実施する。”に修正致します。
渋谷隆 18	752	5.3.11		ed	“アキシアルタイプ” “アキシアル形状”が定義されている。	“アキシアル形状”に修正する。	ご提案通り修正致します。
渋谷隆 19	779	5.3.14		ed	“アキシアル端子”	“アキシアルリード端子付き”に修正する。	ご提案通り修正致します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

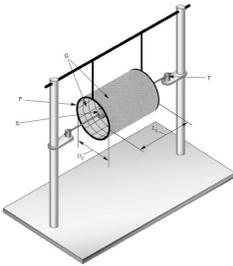
日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 20	793 809	5.3.15 5.3.16		ed	“スイープ” 極力、日本語を用いる。	“掃引”に修正する。	ご提案通り修正致します。
渋谷 隆 21	795 810	5.3.15 5.3.16		ed	gn SI 単位系を用いる。	“390 m/s ² 又は 400 m/s ² ”に修正する。 対応国際規格が SI 単位を使っていないのであれば、明らかな間違いとし、必要であれば注記で説明する。その場合、IDT は維持される。	ご指摘ありがとうございます。 次のように修正致します。 5.3.15 バンプ 加速度：390 m/s ² 又は 400 m/s ² (40 gn) でパルス持続時間 6 ms 5.3.16 衝撃 加速度：490 m/s ² 又は 500 m/s ² (100 gn)
藤井 1	1213	6.9		ed	「ガーゼの筒」とありますが、1094 行では、同じ用語が「ガーゼシリンダー」と記載されているようです。同じ用語なら、統一すべきです。ところで、「ガーゼシリンダー」とはどのような部品のことでしょうか。一般的な用語でしょうか？説明が無いように思われます。	ガーゼシリンダー	この規格の親規格である、JIS C 5201-1 に従い、用語を“カーゼ円筒”に統一させていただきます。 ガーゼ円筒とは、以下のようなものになります。偶発的過負荷試験（発炎性燃焼試験）に用います。 JIS C 5201-1 12.3 参照。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							 <p>記号説明 S : 側試品 F : 鉄線などで作った枠 G : 枠に置かれた1個のガゼ T : 断面を最小部に記録した取付機平 Lc, Dc : ガゼ内筒の長さ、外径</p> <p>図 27—円筒形供試品用のガゼ試験シグの寸法</p>
渋谷隆 22	1433 1435	9.11	表 9	ed	縦線が途切れている部分がある。	直す。	ご指摘に従い修正致します。
渋谷隆 23	1447	9.11	表 10	ed	IL の列が途中で分割されている。	定期試験より前と後で表を分ける。	ご指摘に従い修正致します。
渋谷隆 24	1457	附属書 A		ed	JIS Z 8301 では用語及び定義は箇条 3 に記載する。	箇条 3 に移動する。	IDT で対応国際規格通りのためこのままようお願い致します。 また、この規格の親規格 C5201-1:2021(IEC60115-1:2020)でも同様な記載があり、次回の IEC IEC60115-1 改訂時に検討致します。
石井 1	1474	附属書 B			添付表紙 [5. (2) 規定項目又は改正点] には「“目視検査”として、個別製品規格に対する要求事項と判断基準とを規定		細分箇条 6.5 に外観検査を追加し、1166 行～1192 行で規定していま

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5201-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					する。」とありましたが、附属書 B の 1474 行「検討中」では規定している事になるのでしょうか？		す。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5952-1	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	103	3.4		ed	取付具は機能ではなく部品である。	“固定する機能 “を” 固定する部品” に修正する。	ご提案どおりに修正いたします。
渋谷隆 2	126	5.1		ed	“インタフェイス” 2 か所	“インタフェイス” を “インタフェース” に修正する。	ご提案どおりに修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5953-3	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷 隆 1	160	5.1		ed	<p>“特に断りがない限り, 25 °C±2 °C である。”</p> <p>対応国際規格は “Case temperature conditions for all tests are 25 ° C ± 2 ° C unless otherwise stated.” であり要求事項ではないが、試験条件のため要求規格にするほうが良い。</p>	<p>“である” を “とする” に修正する。</p>	<p>対応国際規格が be 動詞であり、要求事項でないため、“である。” のままとします。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C5953-4	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	169	4.2		ed	表 2 の題名は動作環境である。	表 2 の題名を動作環境パラメータにする。又は“動作環境パラメータ”を“動作環境”に修正する。	“動作環境パラメータ”を“動作環境”に修正いたします。
渋谷隆 2	197	5.2		ed	表 5 及び表 6 の題名に合わせる。	“試験条件は、表 5 及び表 6 に規定する。”を“送信部の特性評価試験及び受信部の特性評価試験を、それぞれ表 5 及び表 6 に示す。”に修正する。表 5 及び表 6 の題名の末尾を“試験”から“試験条件”とするほうが良い。	ご提案どおりに修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
藤井 1	1 ページ	5 (1) 【必要性】 9 行目から 10 行目の記載		ed	「マルチコアファイバ←マルチコア光ファイバ」について、意味不明の記載です。注釈なのでしょうか。	マルチコア光ファイバ	「マルチコア光ファイバ」に修正いたします。
藤井 2	1 ページ	5 (2) 4 行目の記載		ed	「マルチコアファイバ←マルチコア光ファイバ？」について、?印も入った、意味不明の記載です。注釈なのでしょうか。	マルチコア光ファイバ	「マルチコア光ファイバ」に修正いたします。
渋谷 隆 1	95	1		ed	“IEC 61300-3-29 で規定する高密度波長分割多重 (Dense Wavelength Division Multiplexing : DWDM) デバイスにも適用不可能である。” 対応国際規格の “attenuation measurements” が訳されていない。	次に修正する。 “IEC 61300-3-29 で規定する高密度波長分割多重 (Dense Wavelength Division Multiplexing : DWDM) デバイスの損失測定にも適用不可能である。”	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 2	138	4.1		ed	対応国際規格は “The reference method for measuring attenuation is with an LSPM.” である。 略語 LSPM 光源及び光パワーメータが規定されている。 “基準測定法は、光パワーメータを用いる方法とし” は不十分である。	次に修正する。 “基準測定法は、光源及び光パワーメータを用いる方法とし”	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 3	156	5.1		ed	対応国際規格は “shall be measured at the output of the launch reference connector.” で要求事項である。 “測定される” は受動態であり、説明である。	“測定する “に修正する。	ご指摘通り修正します。
渋谷 隆 4	159	5.1		te	対応国際規格は “The source output power shall be greater than or equal to 20 dB above the minimum measurable power level.” である。	“光源の出力光パワーは、測定可能な最小光パワーに対し 20 dB 以上高くする” に修正する。	ご指摘通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					“光パワーメータの最小受光感度に対し” は間違いである。 光パワーメータの最小受信感度を基準にすると、損失が 20dB の供試品は測定できない。		
渋谷隆 5	170	5.2		ed	対応国際規格は “The dynamic range of the power meter shall be capable of measuring the power level exiting from the DUT at the wavelength being measured.” で要求事項である。	“ダイナミックレンジをもつ” を “ダイナミックレンジをもたなければならない” に修正する。	ご指摘通り修正します。
渋谷隆 6	201 291	5.7 6.4.7		ed	JIS C 5962 に “光コネクタプラグ” 、 “光コネクタレセプタクル” が定義されている。	“コネクタプラグ又はレセプタクル” を “光コネクタプラグ又は光コネクタレセプタクル” に修正する。	ご指摘通り修正します。
渋谷隆 7	211 212	6.2		ed	JIS C 5962 には “光コネクタ” が定義されている。	“コネクタ端面 “を” 光コネクタ端面 “に修正する。	ご指摘通り修正します。
渋谷隆 8	390	A,1		ed	JIS C 5962 では、“多心光コネクタ” の用語が用いられている。 JIS C 5900 では、“光受動部品” の用語が用いられている。	“多心コネクタ及び受動部品 “を” 多心光コネクタ及び光受動部品 “に修正する。	ご指摘通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。